

防災・安全・復興に関する国際シンポジウム

2009年10月16日(金)、17日(土)、18日(日)

会場／新潟県長岡市(ホテルニューオータニ長岡、ハイブ長岡、長岡技術科学大学)

主催／(社)中越防災安全推進機構、日本災害復興学会

共催／新潟大学災害復興科学センター

特別協力／新潟日報社

協賛／新潟県道路整備協会、新潟県河川協会、新潟県治水砂防協会

後援／国土交通省北陸地方整備局、新潟県、長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、見附市、川口町、刈羽村
気象庁

(社)土木学会、(社)地盤工学会、(社)日本地震学会、(社)日本雪氷学会、(社)砂防学会、(社)日本地すべり学会、

(社)地理情報システム学会、水文・水資源学会、日本自然災害学会、地域安全学会、日本災害情報学会

中越復興市民会議、NPO法人 中越防災フロンティア、中越市民防災安全士会

朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞社新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、

NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

参加申込方法

参加ご希望の方は、必要事項(下記「参加申込書」に記載の事項)を記入し、FAXにてお申し込みください。ホームページ(「中越防災安全推進機構」で検索)からもご応募可能です。ご応募いただいた方には9月中旬以降、順次入場整理券を郵送いたします。

■応募締切 **平成21年10月2日(金)**

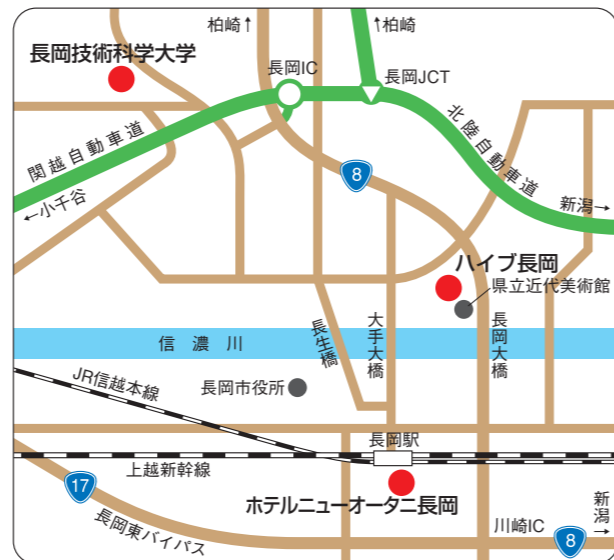
■お申し込み・お問い合わせ先

(社)中越防災安全推進機構「国際シンポジウム」係

中越防災安全推進機構

検索

TEL・FAX 0258-36-8141



「防災・安全・復興に関する国際シンポジウム」参加申込書 ▶▶▶ FAX (0258)36-8141

連絡担当者名 _____

会社・団体名 _____

住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____

- ※1 参加を希望されるプログラムに○をお付けください。
- ※2 書ききれない人数の場合は、適宜必要事項を記してお送りください。
- ※3 参加費は会場にて現金でお支払いいただきます。
- ※4 長岡駅ーハイブ長岡ー長岡技術科学大学間でシャトルバスを運行いたします。
- ※5 宿泊予約に関してはホームページをご覧ください。

参加者氏名	10月16日(金)		10月17日(土)		10月18日(日)	
	ホテルニューオータニ長岡 シンポジウム (無料)	バンケット (¥6,000)	ハイブ長岡 (無料)	長岡技術 科学大学 (無料)	交流会 (¥3,000)	エクスカージョン コースA (¥3,500) コースB (¥3,500)

新潟県中越大震災5周年事業 防災・安全・復興に関する 国際シンポジウム

International Symposium on Disaster Prevention, Recovery, and Revitalization

新潟県 長岡市

思いの絆(Kizuna)で世界をつなぐ

2009年
10月16日(金)~18日(日)

主催：(社)中越防災安全推進機構

(構成機関：長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校、
(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、長岡商工会議所、
(社)北陸建設弘済会)

日本災害復興学会

共催：新潟大学災害復興科学センター

特別協力：新潟日報社

協賛：新潟県道路整備協会、新潟県河川協会、新潟県治水砂防協会

開催趣旨

新潟県の中央部、中越地域では近年連続して自然災害が発生している。2004年7月の新潟・福島豪雨による三条市を中心とした大水害、10月には川口町を震源とする新潟県中越地震、2006年は平成18年豪雪として前年と2年続きの雪害、そして2007年7月の新潟県中越沖地震である。

地震災害をはじめとする自然災害は、中越地域だけでなく、日本全国および世界各地で毎年のように発生している。ここ最近でも、日本国内では2007年3月の能登半島地震、2008年6月の岩手・宮城内陸地震などが発生しており、世界に目を向けると、1999年9月の台湾の集集地震、2004年12月のスマトラ大地震、2005年8月にアメリカ南部を襲ったハリケーン・カトリーナ、10月のパキスタン地震、2008年5月のミャンマーでのサイクロン被害と中国四川省での大地震などが挙げられる。いずれの災害においても多くの人々が被災し、今なお懸命の復興にあたっている。

大きな自然災害によって被害を受けた人々が生活を取り戻すには、復旧に3年、その後の復興に3年、災害が過去のものとなるまでには10年が必要とされている。中越地域に関して言えば、2009年は水害・地震・豪雪の大被害から5年といういわば折り返しの年である。また中越沖地震の被災地にとっては、地震から2年を経過し、復興への緒に就く年でもある。この節目の年に「防災・安全・復興」をテーマに国際シンポジウムを開催する。

シンポジウムでは、わが国だけでなく世界からも広く防災、安全、復興に関する知見を集め、交流を深め、その成果を世界に向けて発信していく。シンポジウムは中越地域の人々のみならず、世界の人々にも大いに役立つことと確信する。

この国際シンポジウムは、(社)中越防災安全推進機構の呼びかけに日本災害復興学会、新潟大学災害復興科学センターの賛同を得て、中越大震災を契機に誕生した3機関が協力して開催する。被災地の皆さんから内外の研究者まで多くの人々が参加し、有意義な交流とネットワーク形成の場となることを望むものである。



2009年9月
社団法人 中越防災安全推進機構
理事長 伊藤 滋

プログラム

本シンポジウムは、建設系CPD協議会が相互承認するプログラムとして登録されています。

10月16日(金) <会場> ホテルニューオータニ長岡

- 13:00～13:50 ● 開会
- 基調講演 『災害が問う地方の持続可能性』
伊藤 滋 ((社)中越防災安全推進機構理事長、東京大学名誉教授)
- 14:00～15:40 ● パネルディスカッション① 『被災を契機とした持続可能な地域づくり』
パネリスト： 顧 林生 (北京清華都市計画設計研究院公共安全研究所長)
陳 亮全 (台湾大学教授)
小林 郁雄 (阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク世話人)
稲垣 文彦 (中越復興市民会議代表)
森 民夫 (長岡市長)
コーディネーター： 室崎 益輝 (日本災害復興学会会長、関西学院大学教授)
- 15:50～17:30 ● パネルディスカッション② 『その時どう決断したか～災害時の危機管理を考える～』
パネリスト： ローリー・ジョンソン (プランナー・ニューオリンズ復興総合計画UNOP担当者)
ムハマド・ディルハムシャ (インドネシア・ジャクワラ大学津波センター)
河田 恵昭 (関西大学環境都市工学部教授)
山崎 登 (NHK解説副委員長)
泉田 裕彦 (新潟県知事)
コーディネーター： 平井 邦彦 (長岡造形大学教授)
- 18:00～19:30 ● バンケット

10月17日(土) <会場> ハイブ長岡

- 9:30～10:40 ● 開会
- 基調講演① 『5.12汶川地震による大規模地すべりの形成に見られる地質学的内因と外因の組み合わせ』
張 永双 (中国地質科学院地質力学研究所研究員)
- 10:50～11:50 ● 基調講演② 『台湾集集地震の被害と特徴』
陳 樹群 (中興大學水土保持系教授兼系主任)
- 13:00～14:30 ● セッション① 『中山間地の地震被害の特徴と防災技術』
『地震による斜面災害と減災対策』
丸井 英明 (新潟大学災害復興科学センター防災部門長兼教授)
『地震による宅地地盤被害と防災対策』
大塚 悟 (長岡技術科学大学教授)
『パキスタン北部地震による斜面災害』
アラール・バクシュ・カウサル (パキスタン地質調査所イスラマバード副局長)
- 14:40～15:40 ● セッション② 『都市における水害対策の新展開～最新情報処理技法とその発信～』
『都市域における洪水流と防災に関する新しい考え方』
玉井 信行 (金沢学院大学大学院教授、東京大学名誉教授)
『ダムや堤防の崩壊による水害シミュレーションの新段階～新しい計算法と地理情報システムの結合～』
ムスタファ・アルティナカール (ミシシッピ大学教授)
- 15:50～16:50 ● セッション③ 『雪氷災害の特徴と防災技術』
『実験と数理モデルによる雪崩と土石流の研究』
ペリー・バーテルト (スイス国立雪・雪崩研究所雪・雪崩研究部門長)
『雪氷災害の変動と予測情報による対策』
佐藤 篤司 ((独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長)

<会場> 長岡技術科学大学

※長岡技術科学大会会場では午前中、日本災害復興学会 全国大会が開催されます。

- 13:00～15:00 ● 分科会①～⑥
- 『火山災害からの復興』
座長：木村 拓郎 ((株)社会安全研究所所長)
- 『都市の復興』
座長：中林 一樹 (首都大学東京教授)
- 『中山間地の復興』
座長：平井 邦彦 (長岡造形大学教授)
- 『中核商店街の復興』
座長：小林 郁雄 (阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク世話人)
- 『被災者支援のあり方』
座長：羽賀 友信 (長岡市国際交流センター長)
- 『行政支援のあり方』
座長：室崎 益輝 (日本災害復興学会会長、関西学院大学教授)
- 15:00～17:00 ● 円卓会議
- 17:30～19:30 ● 交流会
★地元地域おこし団体によるブース出店(地元食材など)
★アトラクション(郷土芸能など)

10月18日(日)

- 9:00～15:00 ● エクスカーション
- ★コースA 2004.10新潟県中越地震の被災地ー長岡市山古志地区(防災訓練視察を含む)、小千谷市方面を予定
- ★コースB 2007.7新潟県中越沖地震の被災地ー柏崎市、刈羽村方面を予定(柏崎刈羽原子力発電所を含む)